青いバラ開発者来校！

開発された青いバラ

5月28日(金)、本校体育館で金沢大学理事の田中隆治氏による特別合同授業が行われた。田中氏はサントリーに勤務しておられ、世界で初めて青いバラを作った人物として有名だ。

その青いバラ、私もテレビや新聞などで目にしたことがあるが、正直言って紫という感じ。だが、青の色素であるデルフィニジンが発現している以上「青」なのだという。バラの花びらのｐＨの関係で、発色はどうしても赤っぽい色になってしまうのだとか。

今後は、青い色素の遺伝子を取り込ませるだけでなく、発色も青にできるようにして、本物の青いバラが見られるようになればいいなと感じた。

…いや、その技術を開発していくのは我々次の世代かもしれない。今回も、途中で打ち切られるほど多数の質問者が出た。それだけ興味をもって講演を聞いていたということだろう。私たちの中から、今回の合同授業を通して生物学に関心を持ち、将来その分野で活躍する人が現れれば、喜ばしいことである。（東田）